

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和5年5月1日

事業所名 児童発達支援・放課後等デイサービスるる

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0%	100%	・お子さんが存分に空間を使い楽しむことが出来るよう、地域の公園なども利用し活動を考えています。	・人数に対して空間が狭く、放課後等デイサービスを利用されているお子さんが十分にスペースを保持し使うことができていない。 ・人数に比べて狭い。 ・仕切りなどがあまりない空間になっている。 ・少し狭いように思う。
	2	職員の配置数は適切である	0%	100%	・職員の増員を行いました。	・人数に対して少ないように感じるときがある。 ・送迎時が手薄に感じる。 ・全員に目配り気配りが行き届かない時がある。
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	50%	50%		・トイレに行く際の段差が大きい。 ・バリアフリーの環境ではないように感じる。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	67%	33%		・参画していない。 ・しっかりと全職員に共有しているか言われたらできていないように思う。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	83%	17%	・保護者アンケートなどのご意見はしっかりと職員間で共有している。	・利用回数などによりしっかりと配り切れないこともある為、注意し配っていく。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	100%	0%	・今年度より開始。しっかりと毎年行っていきたい。	
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	100%	0%		・今後していきたいと思う。
適切な支援の提供	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	17%	83%	・今後しっかりと時間を取り行っていきたいと思う。	・研修はない。 ・研修を受けたことがない。 ・研修はあまりできていない。 ・朝の時間などをうまく活用し研修を行っていき、職員の質の向上に努めていけるよう度量くしていきたいと思う。
	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・保護者との送迎時や面談の時間をしっかりと取りニーズなどを聞いている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	100%	0%		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	50%	50%		・常勤の少なさから偏りがあるように思う。 ・一人が考えている状況が多い。 ・職員増員に伴い、しっかりとチームで行っていきたいと思う。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	100%	0%	・日々いろいろな経験が出来るように様々な活動を考えている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	100%	0%		
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	100%	0%	・お子さんのそれぞれの課題や、特性に応じその日の集団に合わせ最善の活動を提供している。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	83%	17%	・朝のお子さんの来所されていない時間を利用し行っている。	・パート職員など出勤時間、退勤時間が異なる職員にはその日のうちに伝えることは出来ていない。だが、次回出勤の際にしっかりとお伝えし情報共有を行っている。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	83%	17%	・送迎後にしっかりと情報共有を行っている。	
17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	100%	0%	・送迎後、その日のうちにしっかりと記録している。		
18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	100%	0%	・しっかりと半月ごとに行っている。(必要に応じて再度見直しを行っている)		
19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせることで支援を行っている	100%	0%			

関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	100%	0%	・児発管はもちろん、現場職員も参加できる際は参加し、より中身をお伝えできる事業所作りを目指している。	
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	100%	0%	・保護者の方と簡単に気軽に連絡を取ることが出来るよう、また抜けのないよう、事業所のラインを作成し情報共有を行うなどをし、トラブルの怒ることがアないよう努めている。 ・また、前の月の月末に次の月の送迎時間を確認し再度確認していただくダブルチェックを行い、ミスの内容行っている。	
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	—	—	・お子さんの安全面の確保として看護師資格を持つ職員の勤務を行っているなど工夫している。	・現在、医療的ケア児は受け入れていない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	83%	17%		・モニタリングや、担当者会議などに参加している。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	—	—		・まだ事例がない。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	33%	67%	・今後かわりを持っていきたいと思う。	・あまりまだ横のつながりや関係機関とのつながりがないため繋がっていききたい。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	50%	50%	・図書館や地域の公園などで関わる機会がある。	・図書館や地域の公園などで場所を共有することや関わることはある。が、割合で言うと少ないように感じる。その為、もっと深めていければと思う。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	50%	50%	・開催がある際にはしっかり参加している。	・わからない。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	100%	0%		
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	33%	67%		・現在は行っていない。 ・いずれはペアレントトレーニングの研修を受講し開催できればと思う。
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	100%	0%	・契約時にしっかりと時間をとり丁寧に行っている。	
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	100%	0%	・送迎時や日々の連絡帳、連絡ツールなどを通してしっかりと行っている。 ・今後も保護者の方が安心して相談できる場所であるよう努めていきたいと思う。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	67%	33%	・年に数回だが行っている。 ・今年度は昨年度よりも回数を増やし行いたいと思う。	・新型コロナウイルスの影響もあり開催に少し迷いもあるが、保護者の方のニーズを大切に行ってきたと思う。 ・もっと回数を増やし開催してもいいと思う。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	100%	0%	・迅速に対応できていると思う。	
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	100%	0%	・毎月の予定表を配る、毎月の月末にその月の様子をお配りし中身の見える事業所を目指している。	
	35	個人情報に十分注意している	100%	0%	・鍵付きのロッカーにて保存している。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	100%	0%	・保護者の方の悩みや不安に寄り添い、利用者とその親がよい関係でいられるよう考えている。	

37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	100%	0%	・SAいけだの地域ボランティアの方に毎月お越し頂いたり、学生ボランティアの方にお越し頂いたり、事業所開催のお祭りに近隣の方にお越し頂いたり地域と密な活動を行っている。	
----	------------------------------------	------	----	---	--

非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	100%	0%	・職員は研修として行っている。 ・保護者の方には契約時に行っている。	
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	83%	17%	・定期的に行っている。 ・外出イベントとして、消防署へいったり、防災センターへ行くなどしてお子さんに周知できるようにしている。	・もっとこまめにしてもいいのでは？と思う。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	83%	17%	・研修を行っている。	・もっとこまめにしてもいいのでは？と思う。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	100%	0%	・アレルギー児の対応として、しっかりと保護者の方と情報の共有をするほか、診断書やアレルギーの数値の用紙のコピーをいただくなど嚴重に注意	
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	100%	0%	し、食べ物の提供などを行っている。	
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	67%	33%		・もう少し頻繁に行っていく。